

年次大会・例会研究発表の記録

[2022～1991年 敬称略、身分は研究発表当時]

学会化後の歴代会長・委員長などについては最終頁に記載されています。

2022年

第14回年次大会（2022.9.4. ZOOM 開催）

〈研究発表〉

「coronavirus language——「コロナ」と“the rona”」

東京女子医科大学准教授 伊藤由起子
司会 順天堂大学教育講師 松本恵美子

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」 発起人 日本獣医生命科学大学准教授 鶴崎 敏彦
発題者 20

「日本語の古文と英語の共通性から学ぶ」 文教大学准教授 野村 忠央
司会 北海道教育大学札幌校専任講師 佐藤 亮輔

〈連続シンポジウム〉

「歴史上の人物は文学の中でいかに扱われているか」

「シェイクスピアによるヘンリー8世とディケンズによるヘンリー8世」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「ミーティヤードが描いた「大工業の英雄」、ジョサイア・ウエッジウッド」

日本大学教授 閑田 朋子

「近代民主主義が産み出した英雄——カーライルのナポレオン観」

早稲田大学教授 岡田俊之輔

「Flower 姉妹のカリスマはいかに語られたか：

Harriet Martineau の初期作品と *Biographical Sketches* を軸に」

桜美林大学准教授 大竹麻衣子

第143回例会（2022.12.4. ZOOM 開催）

〈連続シンポジウム〉

「歴史上の人物は文学の中でいかに扱われているかⅡ」

「クロムウェルはプーチンか？—マーヴェルの三部作から」 日本大学研究員 植月恵一郎

「ロバート・サウジーの「戦う偉人」—『ワット・タイラー』、『ジャンヌ・ダルク』、そして『ネルソン伝』」 茨城大学教授 小林 英美

「キャラクターとしてのキャメロン夫人—ヴァージニア・ウルフによるジュリア・マーガレット・キャメロン像の生成」 東京理科大学非常勤講師 吉田えりか

司会 茨城大学教授 小林 英美

第 144 回例会 (2023.3.5. 於日本大学危機管理学部三軒茶屋校舎、ハイブリッド開催)

〈研究発表〉

「Using Speed Reading as a Warm-up Activity for Literature Classes 英語圏文学の授業で速読活動に関する考察と提案」
日本大学非常勤講師 チャン・テッカ
司会 順天堂大学教育講師 松本恵美子

〈シンポジウム〉

「近現代フランス文学・思想における「家族」と「性差」の表象」

発題者 1

「クララン共同体における家政の表象と性差のキアスム」

日本大学専任講師 齋藤 山人

発題者 2

「ドゥルーズ=ガタリにおける家族主義批判」

立教大学教育講師 黒木 秀房

発題者 3

「今日のフランス文学にみる家族史の現在」

大阪大学専任講師 篠原 学
司会 日本大学専任講師 齋藤 山人

関西支部第 34 回例会 (2022.9.17. ZOOM 開催)

〈研究発表〉

「ディケンズとアメリカの都市」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
司会 龍谷大学非常勤講師 藤井 晶宏

「George Orwell の *Nineteen Eighty-Four* における Mr. Charrington の良心」

三重大大学特任教員 高橋 一馬
司会 京都先端科学大学専任講師 江藤あさじ

「ニューヨークのユダヤ人—アルフレッド・ケイジンの描くニューヨーク—」

新見公立大学教授 山内 圭
司会 京都女子大学准教授 中村 善雄
総合司会 例大会運営委員長 上滝 圭介

2021 年

第 13 回年次大会 (2021.9.5. ZOOM 開催)

〈研究発表〉

「厨川白村の文学論『苦悶の象徴』について—郁達夫との比較」

日本大学大学院生 王 梓玥
司会 日本大学特任教授 植月恵一郎

「語の非意図性と to 不定詞の目的・結果用法」

東京電機大学専任講師 関田 誠
司会 日本獣医生命科学大学准教授 鵜崎 敏彦

「コロナ禍において生まれた和製英語「コロナ」の分析—新聞・雑誌記事を中心に」

東京女子医科大学准教授 伊藤由起子

司会 順天堂大学教育講師 松本恵美子

〈連続シンポジウム〉

「人種・民族Ⅱ」 コーディネーター 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
発題者 1 「ラフカディオ・ハーン対バジル・ホール・チェンバレン—人種の観点から」
群馬工業高等専門学校教授 横山 孝一

発題者 2 「J. M. シングの戯曲にみられるアイルランド民族」
京都外国語専門学校非常勤講師 小林 佳寿

発題者 3 「「アメリカ人」概念の行方—「分断」の時代とプアホワイト層の表象」
専修大学教授 中垣恒太郎
司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

第 141 回例会 (2021.12.5. ZOOM 開催)

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」 発起人 日本獣医生命科学大学准教授 鶴崎 敏彦
発題者 17 「コールドウェルの「苺の季節」を読む—教室で読む英文学—」
日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 東京電機大学専任講師 関田 誠

発題者 18 「仮定法の帰結節に現れる should について」 文教大学准教授 野村 忠央
司会 日本獣医生命科学大学准教授 鶴崎 敏彦

発題者 19 特別講演 「どうしたら高い学習意欲を持ち続けられるのか?」
(ゲスト) 千葉工業大学教授 渋谷 和郎
司会 文教大学准教授 野村 忠央

第 142 回例会 (2022.3.6. ZOOM 開催)

〈研究発表〉

『トロイラスとクレシダ』における医学」 日本赤十字看護大学専任講師 遠藤 花子
司会 学習院大学助教 大住有里子

「エミリ・ブロンテの両極的な表現—パイロンと北村透谷の比較から—」
日本大学専任講師 工藤由布子
司会 埼玉工業大学非常勤講師 藤田 晃代

〈特別講演〉

「英語の筋の通し方、日本語の筋の通し方」 (ゲスト) 学習院大学教授 真野 泰
司会 文教大学准教授 野村 忠央

関西支部第 33 回例会 (2021.9.18. ZOOM 開催)

〈関西支部フォーラム〉

「人種・民族」
発題者 1 「『自由を求めた千マイルの逃走』と人種／階級／ジェンダーへの問い」
京都女子大学准教授 中村 善雄

発題者 2 「ジョン・スタインベックの作品から人種および民族に関するテーマに切り込む」

新見公立大学教授 山内 圭

発題者 3 「「植物する」(plant doing) ということ：ジョン・ウィンダム『トリフィドの日』
を読む」 同志社大学教授 遠藤 徹

発題者 4 「19 世紀アメリカ文学にみる黒人奴隷法とその源流」
(ゲスト) 同志社大学大学院司法研究科教授 深谷 格

発題者 5 「牧師・マーティン・ルーサー・キング二世の「正義・平和・自由」についての一
考察」 (ゲスト) 日本キリスト教団室町教会牧師 浅野 献一

発題者 6 「イギリスの 19 世紀後半に見られるユダヤ人への理解」
コメンテーター 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
司会 同志社大学教授 遠藤 徹

2020 年

第 12 回年次大会 (2020.9.6. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

新型コロナウイルス感染拡大の為に延期 (2021.3.7. ZOOM 開催)

〈研究発表〉

「ホーソン作品にみる楽園の崩壊—『ブライズデイル・ロマンス』と『大理石の牧神』を
中心に」 東京工芸大学非常勤講師 大野 里枝
司会 専修大学教授 中垣恒太郎

「フランソワ・ジェラルド《ダフニスとクロエ》(1825 年) について」
日本大学非常勤講師 安室加奈子
司会 日本大学教授 植月恵一郎

「“I washed my face and hands” — 『ピグマリオン』における〈視線〉」
近畿大学非常勤講師 松本 望希
司会 京都外国語専門学校非常勤講師 小林 佳寿

「3 項動詞 provide の構造パターンにおける意味の差異について」
東洋大学大学院生 今 佑介
司会 文教大学准教授 野村 忠央

〈講演〉

「図書館から拡張する読者ネットワーク～19 世紀ノッティンガム」
茨城大学教授 小林 英美
司会 早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子

第 140 回例会 (2020.3.1. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

新型コロナウイルス感染拡大の為に延期 (2020.12.6. ZOOM 開催)

〈研究発表〉

「E. M. フォースター作『永遠の命』における寓意的意味について」
日本大学博士課程満期退学 高坂 徳子
司会 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

「Instagram を取り入れたアクティブラーニング : TOEIC Test Part1 写真描写問題、Part2
会話問題の問題作成授業の報告」
司会 順天堂大学教育講師 松本恵美子
東京女子医科大学准講師 森景 真紀

2019 年

第 11 回年次大会 (2019.9.1. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「クリスティナ・ロセッティの抒情詩にみる仮定法の機能」

埼玉工業大学非常勤講師 藤田 晃代
司会 日本女子体育大学教授 加賀 岳彦

〈連続シンポジウム〉

「英米文学・文化と人種・民族の問題 I」

コーディネーター 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
発題者 1 「*Oliver Twist*—反ユダヤ主義とフェイギン」 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

発題者 2 「イギリスの民族及びその階級社会について—ジョージ・オーウェルを元に考察する」
前日本オーウェル協会会長 大石健太郎

発題者 3 「作者オーガスト・ウィルソンと作中人物マ・レーニーとの距離感 : アフリカン・
アメリカンのアメリカでの立ち位置に関して」 駒澤大学非常勤講師 伊勢村定雄

発題者 4 「歴史と民族意識が招いた韓国の英語事情—日本人英語からの脱却」
東京電機大学総合研究所研究員 伊藤由起子

第 138 回例会 (2019.3.3. 於日本大学文理学部)

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」 発起人 日本獣医生命科学大学准教授 鶴崎 敏彦
発題者 15 「接続詞 *that* の現れる位置と省略可能性について」

(ゲスト) 東北大学大学院生 田村 惇
司会 文教大学准教授 野村 忠央

発題者 16 「洋楽 (*Can't Take My Eyes off You*) の歌詞を使った授業報告」

日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 北里大学非常勤講師 森景 真紀

第 139 回例会 (2019.12.1. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「ETS 公式単語集を含む、TOEIC 試験対策用の一般単語集、販売上位の単語集と新
JACET8000 の 8 レベルとの一致度の比較」 順天堂大学教育講師 松本恵美子

司会 北里大学非常勤講師 加藤 良浩

“Analysis of Junior High School English Textbooks from the View of Prepositions”

茨城大学大学院生 高橋 周作
司会 日本大学教授 小堂 俊孝

「イギリス・ロマン派の画家ターナーを中心とする西欧絵画と日本文学—宮沢賢治の「描いた絵画から見た絵画を伏線として—」
日本大学大学院生 堀内 克丸
司会 日本大学教授 植月恵一郎

関西支部第 32 回例会 (2019.9.7. 於同志社大学今出川校地 (烏丸キャンパス))
〈研究発表〉

「Maurya と Mrs. Synge—戯曲 *Riders to the Sea* に見られる母親像」
京都外国語専門学校非常勤講師 小林 佳寿
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

「ハズリットとルソーの『社会契約論』」
龍谷大学非常勤講師 藤井 晶宏
司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「ブラム・ストーカーが描く英国の一善良市民、ジョナサン」
同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ
司会 同志社大学教授 遠藤 徹

2018 年

第 10 回年次大会 (2018.9.2. 於日本大学芸術学部江古田校舎)
〈研究発表〉

「ジョン・マリー社による岡倉覚三 (天心) の『東洋の理想』出版の背景とその意義」
茨城大学教授 小林 英美
司会 専修大学教授 中垣恒太郎

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」 発起人 日本獣医生命科学大学准教授 鵜崎 敏彦
発題者 12 「作品タイトルに見る日英語の相違」 北里大学非常勤講師 森景 真紀
司会 日本獣医生命科学大学准教授 鵜崎 敏彦

発題者 13 「ヴァージニア・ウルフの“Legacy”を教室で読む—自由間接話法を体験する意義」
明治大学非常勤講師 吉田えりか
司会 日本赤十字看護大学教授 川崎 修一

発題者 14 「語学 (英語) の授業での文学作品をどう扱うか」
日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 桐生大学教授 女鹿 喜治

第 136 回例会 (2018.3.11. 於日本大学文理学部)
〈研究発表〉

「E. M. フォスター作「機械は止まる」における「本」の役割について」
日本大学大学院生 高坂 徳子
司会 東北女子大学准教授 杉本久美子

「国際化する文芸批評と読者網—予約購読出版と読書施設の役割」
茨城大学教授 小林 英美

司会 早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子

第 137 回例会 (2017.12.2. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「明治初期のディケンズ受容—内田魯庵を中心に」 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之
司会 日本大学教授 閑田 朋子

関西支部第 31 回例会 (2018.9.10. 於同志社大学今出川校地 (烏丸キャンパス) 志高館)

〈ワークショップ〉

「英文学と階級」 司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
「D. H. ロレンスの階級意識」 同志社女子大学非常勤講師 井上 径子
「*Great Expectations*—階級の上昇と因果律」 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

〈研究発表〉

「スフィンクスの笑み—H. G. ウェルズ『タイム・マシン』と人間の未来」
同志社大学教授 遠藤 徹
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

2017 年

第 9 回年次大会 (2017.9.3. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈シンポジウム〉

「外国から見た日本」コーディネーター 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
司会 駒澤大学非常勤講師 伊勢村定雄

「*Murray's Handbooks for Travellers in Japan*に見られる日英間の視線」
発題者 津田塾大学大学院生 清水由布紀

「韓国人から見た日本人の英語」 発題者 東京電気大学専任講師 伊藤由起子

「インバウンド概観と拙著『観光日本への誘い』の成立と特徴」
発題者 駒澤大学非常勤講師 伊勢村定雄

〈講演〉

「迷惑な英文学について」 (ゲスト) 早稲田大学教授 安藤 文人
司会 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

第 134 回例会 (2017.3.5. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「2013 年のニューヨーク滞在経験からトランプ大統領の就任を考える—本当に不寛容のア
メリカへの転換点と受け取れるのか—」 日本大学教授 佐藤 聡彦
司会 駒澤大学非常勤講師 伊勢村定雄

第 135 回例会 (2017.12.3. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「『ピーターとウェンディ』の光と影」 茨城大学大学院生 鳴井 柚紀
司会 茨城大学教授 小林 英美

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」 発起人 日本獣医生命科学大学准教授 鶴崎 敏彦
発題者 10 「主語と補語との数の（不）一致について」

日本赤十字看護大学教授 川崎 修一
司会 日本獣医生命科学大学准教授 鶴崎 敏彦

発題者 11 「言語の古い形が残っているのは中心の地あるいは周辺の地？」

明海大学講師 野村 忠央
司会 桐生大学教授 女鹿 喜治

関西支部第 30 回例会（2017.9.9. 於同志社大学今出川校地（烏丸キャンパス）志高館）

〈ワークショップ〉

「英米文学と絵画性」 司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
「*The Great Gatsby* に於ける絵画性と色の象徴」 桃山学院大学非常勤講師 西山 久子

「*Pictures from Italy* における「ピクチャレスク」の用いられ方」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

〈研究発表〉

「Trump-Kong or Vietkon(g)? : 映画『キングコング：髑髏島の巨神』（2017）を読む」

同志社大学教授 遠藤 徹
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

2016 年

第 8 回年次大会（2016.9.4. 於日本大学芸術学部江古田校舎）

〈研究発表〉

「一破滅的な過去と脆弱な未来—『パリの家』で描かれる囚われた大人たちと明敏な子どもたち」

東北女子大学准教授 杉本久美子
司会 日本大学専任講師 近藤 直樹

〈シンポジウム〉

「シャーロット・ブロンテ生誕 200 周年記念シンポジウム」

司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「Charlotte Brontë と Harriet Martineau: 心の表象をめぐって」

桜美林大学人文学系准教授 大竹麻衣子

「*Villette* におけるプロテスタントとカトリック」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「教室で「見る」英文学—『ジェイン・エア』を中心に—」

早稲田大学非常勤講師 田村 裕二

第 132 回例会（2016.3.6. 於日本大学芸術学部江古田校舎）

〈研究発表〉

「『楽園の喪失』試論—「楽園の東の門」に関する一考察」

埼玉医科大学専任講師 上滝 圭介

司会 秋田工業高等専門学校専任講師 古河美喜子

第 133 回例会 (2016.12.4. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「19 世紀初頭のイギリス詩の同時代アメリカ定期刊行物書評」 茨城大学教授 小林 英美
司会 早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」 発起人 日本獣医生命科学大学准教授 嶋崎 敏彦
発題者 8「外国語教育としての英語教育」 明星大学助教 藤原 愛
司会 日本大学非常勤講師 奥井 裕

発題者 9「were to が現れた条件文の帰結節は仮定法だけなのか」

(ゲスト) 桐生大学教授 女鹿 喜治
司会 明海大学講師 野村 忠央

関西支部第 29 回例会 (2016.9.10. 於同志社大学今出川校地良心館)

◆ 関西支部創設 20 周年記念特別大会

〈ワークショップ〉

「アイルランド文学を読む」 司会 環太平洋大学講師 中村 仁美
「彼の愛したヒロインたち—J. M. Synge の戯曲に描かれる女性のアイリッシュネス」
京都女子大学博士課程満期退学 小林 佳寿

「*The Portrait of the Artist as a Young Man* におけるスティーヴンの魂の救済」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「混迷する『場所の感覚』—南北分割とアルスターの作家たち—」

環太平洋大学講師 中村 仁美

〈シンポジウム〉

「文学と教育」

「レトリックと文学の接点—エナルゲイア」

(ゲスト) 同志社女子大学名誉教授 辻 裕子

「Culture Informs Literature—文学を通して言語が果たす役割を知る」

京都大学非常勤講師 江藤あさじ

「英語教育における文学素材の可能性—ターゲットスキルの視座から—」

(ゲスト) 京都外国語大学 (専門学校) 専任講師 幸重美津子

「語学教育の基礎に関する一考察—辞書の活用について」

日本大学教授 植月恵一郎

2015 年

第 7 回年次大会 (2015.9.6. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「江戸川乱歩作品にみる、E. A. ポオからの影響—踏襲点と差異について—」

日本大学大学院生 高野 和彰
司会 日本大学教授 植月 恵一郎

「古典作品の継承者として—Cynthia Ozick の *Heir to the Glimmering World*」

東京電機大学専任講師 大森 夕夏
司会 早稲田大学非常勤講師 田村 裕二

「小説論に見るジョージ・オーウェルのアメリカ観」

日本大学助教 近藤 直樹
司会 和光大学非常勤講師 奥井 裕

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」 発起人 日本獣医生命科学大学准教授 鴫崎 敏彦
発題者 6 「大学の英語教育におけるアウトプット力向上方法」

デジタルハリウッド大学准教授 江幡真貴子
司会 デジタルハリウッド大学教授 大石健太郎

発題者 7 「動詞と接触する名詞句の“秘密の関係”を暴露する」

日本赤十字看護大学准教授 川崎 修一
司会 日本女子体育大学准教授 加賀 岳彦

第 130 回例会 (2015.3.1. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「2015 年から見たオーガスト・ウィルソンの主張」 東洋大学非常勤講師 伊勢村定雄
司会 日本大学教授 植月 恵一郎

第 131 回例会 (2015.12.6. 於日本大学文理学部)

〈研究発表〉

「ディケンズとポー」 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之
司会 早稲田大学非常勤講師 田村 裕二

「Shakespeare の初期作品にみる artifice—*The Comedy of Errors* 再考」

日本大学非常勤講師 小山 誠子
司会 早稲田大学非常勤講師 田村 裕二

関西支部第 28 回例会 (2015.9.10. 於同志社大学今出川烏丸校地志高館)

〈ワークショップ〉

「ジェンダーの諸相」 II 司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「D. H. ロレンス後期の短編小説に見られる女性像—「太陽」を中心に」
同志社女子大学非常勤講師 井上 径子

「イザベラ・バードの見た日本」 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

〈研究発表〉

「もうひとりのスーパーマン」 同志社大学教授 遠藤 徹
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

2014年

第6回年次大会 (2014.9.7. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「ジョナサン・スウィフトの『桶物語』—その風刺の手法」

青山学院大学非常勤講師 妹尾新太郎
司会 早稲田大学非常勤講師 田村 裕二

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」

発起人 日本獣医生命科学大学准教授 嶋崎 敏彦
司会 和光大学非常勤講師 奥井 裕

発題者1「英語の指示表現の機能」

日本女子体育大学助教 山田 七恵

発題者2「English as a Lingua Franca (ELF) に基づいた英語教育」

明星大学助教 藤原 愛

発題者3「英語史の知見を英語教育に活かす～習熟度の別を問わない効果的な発問を探る～」

日本獣医生命科学大学専任講師 嶋崎 敏彦

第128回例会 (2014.3.2. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「*The Water-Babies* における魂の成長」

茨城大学大学院生 海老沢朱里
司会 茨城大学准教授 小林 英美

第129回例会 (2014.12.7. 於日本大学文理学部)

〈研究発表〉

「定期刊行物での予約購読形式詩集の書評—読者拡大の意図—」

茨城大学准教授 小林 英美
司会 早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子

〈連続シンポジウム〉

「学問的知見を英語教育に活かす」

発起人 日本獣医生命科学大学准教授 嶋崎 敏彦
司会 和光大学非常勤講師 奥井 裕

発題者4「*Summing Up* を教室で読む」

東洋大学非常勤講師 岡部 佑人

発題者5「混乱の多い英文法の専門用語について」

北海道教育大学旭川校准教授 野村 忠央

関西支部第27回例会 (2014.9.10. 於同志社大学今出川烏丸校地志高館)

〈ワークショップ〉

「ゴシック小説を読む」

司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「『吸血鬼』の『起源』をめぐって」

(ゲスト) 大阪市立大学非常勤講師 小林 裕史

「*Dracula*—ヴァン・ヘルシング教授の説明と物語の展開」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「ドラキュラのリベンジ—ある実験的な読み方」

同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

「裏返しのゴシックネス Björk “All is Full of Love”のMVを読む」

同志社大学教授 遠藤 徹

2013 年

第 5 回年次大会 (2013.9.1. 於 日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「ディケンズの『憑かれた男』を読む」

早稲田大学非常勤講師 水野 隆之
司会 早稲田大学非常勤講師 田村 裕二

〈シンポジウム〉

「英米文学と旅」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂 (一発起人として)

司会 日本大学教授 植月恵一郎

「ミルトンとグランド・ツアー」

早稲田大学非常勤講師 大西 章夫

「馬の樂園と地獄—〈フウイヌム〉から「ギルピン」まで」

日本大学教授 植月恵一郎

「*Little Dorrit*—エイミー・ドリットとグランド・ツアー」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「ラフカディオ・ハーンの「古い日本」発見の旅—「ある保守主義者」とは誰か」

群馬工業高等専門学校准教授 横山 孝一

第 126 回例会 (2013.3.3. 於 日本大学芸術学部江古田校舎)

〈ミニ・シンポジウム〉

「拡大する読者と英米文学」

司会 茨城大学准教授 小林 英美

発題者 1 「支援者を通して拡大・増加する読者—シャーロット・スミスの詩集の事例」

茨城大学准教授 小林 英美

発題者 2 「19 世紀における小説読者の拡大とディケンズ」

早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

発題者 3 「エミリー・ディキンソンと「読者」—「送られた」詩と「送られなかった」詩」

早稲田大学非常勤講師 金澤 淳子

第 127 回例会 (2012.12.1. 於 日本大学文理学部)

〈研究発表〉

「物語作家としての Harriet Martineau と観念連合説」

桜美林大学准教授 大竹麻衣子

司会 群馬パース大学保健科学部准教授 杉田 雅子

「予約購読出版詩集と定期刊行物書評—グラント夫人の場合」

茨城大学准教授 小林 英美

司会 早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子

関西支部第 26 回例会 (2013.9.14. 於 同志社大学今出川烏丸校地志高館)

〈ワークショップ〉

「都市と表象」

司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

『二都物語』—パリとその表象」	甲南大学非常勤講師	吉田 一穂
「ハズリットと「抽象的な」ロンドン」	龍谷大学非常勤講師	藤井 晶宏
『華麗なるギャツビー』におけるジャズエイジの特色」	桃山学院大学非常勤講師	西山 久子

2012 年

第 4 回年次大会 (2012.9.2. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「 <i>A Passage to India</i> に見る E. M. Forster のパターンとリズム」	東北女子大学専任講師	杉本久美子
	司会 松山大学准教授	新井 英夫
「英語聖書における外国語の影響」	日本大学准教授	佐藤 勝
	司会 北海道教育大学旭川校准教授	野村 忠央

〈シンポジウム〉

「ディケンズ生誕 200 年を迎えて」	司会 早稲田大学非常勤講師	水野 隆之
「ディケンズとジェンダー—家父長制神話の崩壊とディケンズの境界線—」	甲南大学非常勤講師	吉田 一穂
「オーウェルの見たディケンズ」	中央大学非常勤講師	近藤 直樹
「近年のディケンズの伝記的研究の成果について」	早稲田大学非常勤講師	水野 隆之

第 124 回例会 (2012.3.13. 於日本大学会館第二別館)

〈研究発表〉

「「ラプソディー」とロバート・バートンの『憂鬱の解剖』」	青山学院大学非常勤講師	妹尾新太郎
	司会 早稲田大学非常勤講師	田村 裕二
「佐藤春夫とホイッスラー」	日本大学研究員	山中 千春
	司会 デジタルハリウッド大学教授	大石健太郎

第 125 回例会 (2012.12.2. 於日本大学文理学部)

〈研究発表〉

「『トムは真夜中の庭で』にみられる伝承童謡の影響」	茨城大学大学院生	山田 真
	司会 茨城大学准教授	小林 英美
「読みかえの物語としての『遠い山なみの光』—エツコの自己物語によるケア—」	松山大学准教授	新井 英夫
	司会 日本大学准教授	閑田 朋子

関西支部第 25 回例会 (2012.9.11. 於同志社同窓会館)

〈テーマ: 「ジェンダーの諸相」〉

第一部 基調講演

「マルグレーター世」

大阪大学非常勤講師 牧野 正憲

第二部 ワークショップ「文学とジェンダー」

司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

「17世紀の新しい女性像「才女」とフェミニズムについて」

関西大学非常勤講師 栗野 広雅

「フェミニズム批評の功罪—翻弄される作家たち—」

同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

「シャーロット・ブロンテとジェンダー—*Jane Eyre*におけるヒロインの願望と選択—」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

2011年

第3回年次大会 (2011.9.4. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈研究発表〉

「対立する価値観の考察—エミリ・ブロンテの思想—」 日本大学非常勤講師 山本由布子
司会 早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子

「民主主義的世相への徹底批判—カーライル最後の社会批評を読む」

早稲田大学准教授 岡田俊之輔
司会 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

〈シンポジウム〉

「教室で生かす英語学」 司会 北海道教育大学旭川校准教授 野村 忠央
「結果構文における—考察—Time-away 構文および Way 構文との関係性をめぐって—」
津田塾大学助教 阿部 明子

「英語における「場所句倒置構文」の特性と分析」 文教大学非常勤講師 山田 七恵

「英語を苦手とする学生に仮定法を理解させるための一方法」

日本大学非常勤講師 奥井 裕

第122回例会 (2011.3.13. 於日本大学会館第二別館)

東日本大震災発生のため中止。

第123回例会 (2011.12.4. 於日本大学会館第二別館)

〈研究発表〉

「18世紀末英国の予約購読形式出版詩集とその書評：ハンズの事例研究」

茨城大学准教授 小林 英美
司会 早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子

「クリスティナ・ロセッティの詩にみるサフォー的なもの」

高崎経済大学非常勤講師 藤田 晃代
司会 日本女子体育大学准教授 加賀 岳彦

2010年

第2回年次大会 (2010.12.12. 於日本大学会館第二別館)

〈研究発表〉

「女性参政権運動に勝利をもたらしたのは誰か—『一世紀の闘争：アメリカ合衆国の女性の権利運動』における女性の力」
群馬パース大学専任講師 杉田 雅子
司会 桜美林大学准教授 大竹麻衣子

〈講演〉

「『1984年』から『1Q84』へ—ジョージ・オーウェルと村上春樹」
デジタルハリウッド大学教授 大石健太郎

〈シンポジウム〉

「拡大する読者ネットワーク：文学嗜好の共有が作り出す19世紀文芸思潮」
司会 茨城大学准教授 小林 英美

「コックニー詩派と出版社—19世紀前半英国の出版事情」
早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子

「マーク・トウェインと19世紀後半アメリカの出版事情—予約出版・著作権を中心に」
大東文化大学准教授 中垣恒太郎

「予約購読者一覧にみる読者・支援者網の拡大—Helen Maria Williamsの詩集(1786年)の事例研究」
茨城大学准教授 小林 英美

〈以下、第120回例会以外は全て研究発表〉

第119回例会 (2010.3.14. 於日本大学会館第二別館)

「初期アメリカ文学にみる「不道德な女」の形成—『シャーロット・テンプル』(1794年)『コケット』(1797年)」
東京理科大学非常勤講師 内堀奈保子
司会 玉川大学非常勤講師 西山 里枝

第120回例会 (2010.6.13. 於日本大学会館第二別館)

『実像への挑戦—英米文学研究—』合評会のため、研究発表なし。

第121回例会 (2010.9.13. 於日本大学会館第二別館)

「『オリヴァー・ツイスト』における語り手とオリヴァーの関係について」
早稲田大学非常勤講師 水野 隆之
司会 早稲田大学非常勤講師 田村 裕二

関西支部第24回例会 (2009.9.10. 於同志社大学)

「シェリーは何をみたのか—ミルトンのセイタン像をめぐる」
同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ
司会 龍谷大学非常勤講師 藤井 晶宏

注：併せて近畿大学非常勤講師・横光利一文学会運営委員の黒田大河氏による講演「横光利一『純粹小説論』考—「第四人称」の可能性をめぐる—」司会は甲南大学非常勤講師吉田一穂氏)が行われた。

2009 年

第 1 回年次大会 (2009.12.13. 於日本大学文理学部)

〈研究発表〉

「Hawthorne の“*My Kinsman, Major Molineux*”における一考察—Robin の独立への旅を中心に」

司会 玉川大学非常勤講師 西山 里枝
東京理科大学非常勤講師 内堀奈保子

「*Jane Eyre* における心—魂と身体の狭間で」

司会 桜美林大学准教授 大竹麻衣子
松山大学専任講師 新井 英夫

〈シンポジウム〉

「言語芸術と視覚芸術の融合」

「西洋の 17 世紀における「煉獄」図像について…ヴィーリクスとその影響」

日本大学教授 木村 三郎

「捨てられたプシュケ」—18 世紀フランス絵画とラ・フォンテーヌ、モリエール」

日本大学非常勤講師 安室可奈子

「ターナーの《イングランド：摂政皇太子誕生日のリッチモンド・ヒル》(1819) の解釈：風景版画との関連から」

武蔵大学非常勤講師 出羽 尚

「キーツの《蝶》と《鳩》—「プシュケーへの賦」を中心に」 日本大学教授 植月恵一郎

〈以下、全て研究発表〉

第 117 回例会 (2009.3.8. 於日本大学文理学部)

「詩人アン・グラントと 19 世紀初頭スコットランド文芸サークル—詩集の予約出版をめぐる」

司会 茨城大学准教授 小林 英美
早稲田大学非常勤講師 大西 章夫

第 118 回例会 (2008.6.14. 於日本大学文理学部)

「『骨董屋』におけるネルの役割：トレントを中心として」 日本大学大学院生 角田 裕子
司会 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

関西支部第 22 回例会 (2009.4.2. 於同志社同窓会館)

「ディケンズと精神的外傷」

司会 甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
龍谷大学非常勤講師 藤井 晶宏

関西支部第 23 回例会 (2008.9.9. 於同志社今出川校地)

「対置する写真—*The Tragic Muse* にみる James の過去の感覚」

司会 ノートルダム清心女子大学准教授 中村 善雄
甲南大学非常勤講師 吉田 一穂

2008 年

〈以下、全て研究発表〉

第 113 回例会 (2008.3.9. 於日本大学文理学部)

「エミリ・ブロンテとロマンティズム」

日本大学大学院生 山本由布子
司会 日本大学准教授 閑田 朋子

第 114 回例会 (2008.6.8. 於日本大学文理学部)

「ガンジーとエコロジー」

日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 早稲田大学非常勤講師 大西 章夫

第 115 回例会 (2008.9.14. 於日本大学文理学部)

「Charlotte Brontë と観相学／骨相学: *The Professor* と *Jane Eyre* における自己と身体」

桜美林大学専任講師 大竹麻衣子
司会 松山大学専任講師 新井 英夫

第 116 回例会 (2008.12.9. 於日本大学文理学部)

「時間を旅する家族の物語」

日本大学専任講師 堀切 大史
司会 日本大学助教 中村 文紀

関西支部第 20 回 (2008.3.28. 於同志社同窓会館)

「メアリ・ウルストンクラフトと背景としての母親」

京都女子大学博士課程学位取得終了 末森 恵子
司会 同志社女子大学非常勤講師 井上 径子

関西支部第 21 回 (2008.9.16. 於同志社同窓会館)

「サナトリウムにおけるモームの人間観察」

関西大学非常勤講師 西紋 茂樹
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

2007 年

〈以下、全て研究発表〉

第 109 回例会 (2007.3.11. 於日本大学文理学部)

「Edwin Muir の詩と言語思想」

日本女子体育大学専任講師 加賀 岳彦
司会 早稲田大学非常勤講師 大西 章夫

第 110 回例会 (2007.6.10. 於日本大学文理学部)

「オーウェルの『ガンジー論』」

日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

第 111 回例会 (2007.9.9. 於日本大学文理学部)

「*Cane* (Jean Toomer) 第 1 部の比喩的表現について」

ロンドン大学大学院生 近藤 直樹
司会 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

第 112 回例会 (2007.12.9. 於日本大学文理学部)

「キャサリン・マンスフィールド「園遊会」—階級差を越えるローラの眼差し」

神奈川県立神奈川総合産業高校教諭 加藤 良浩
司会 拓殖大学非常勤講師 近藤 直樹

関西支部第 19 回例会 (2007.9.14. 於同志社同窓会館)

「*The Lost Girl*における Alvina の旅—自意識を超えて」

同志社女子大学非常勤講師 井上 径子
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

2006 年

〈以下、全て研究発表〉

第 105 回例会 (2006.3.12. 於日本大学文理学部)

「ホーソーンと罪—「幸運なる墮落」に関する一考察」 麗澤大学大学院生 富樫 壮央
司会 日本大学助手 堀切 大史

第 106 回例会 (2006.6.10. 於日本大学文理学部)

「アン・ブロンテの『アグネス・グレイ』における〈語り〉の本質」
日本大学大学院生 新井 英夫
司会 早稲田大学非常勤講師 杉本 一郎

第 107 回例会 (2006.9.10. 於日本大学文理学部)

「*Stranger Tales from Humble Life* 試論」 日本大学文理学部助教授 閑田 朋子
司会 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

第 108 回例会 (2006.12.10. 於日本大学文理学部)

「リー・ハント『リミニ物語』の語り」 早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子
司会 早稲田大学非常勤講師 大西 章夫

関西支部第 17 回例会 (2006.7.15. 於 YMCA 国際文化センター[大阪市])

「『バーナビー・ラッジ』にみる国家の姿」 龍谷大学非常勤講師 藤井 晶宏
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

関西支部第 18 回例会 (2006.9.23. 於 YMCA 国際文化センター[大阪市])

「ミルトンの律法観」 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ
司会 龍谷大学非常勤講師 藤井 晶宏

2005 年

〈以下、全て研究発表〉

第 101 回例会 (2005.3.13. 於日本大学文理学部)

「マンスフィールドの「カナリア」について」 日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 早稲田大学非常勤講師 水野 隆之

第 102 回例会 (2005.6.12. 於日本大学文理学部)

「オーウェルの初期の小説」 早稲田大学非常勤講師 大石健太郎
司会 早稲田大学非常勤講師 近藤 直樹

第 103 回例会 (2005.9.11. 於日本大学文理学部)

「チャールズ・ブロックデン・ブラウンにおける「共感」の両義性」

中央大学非常勤講師 平野 正樹
司会 日本大学助手 堀切 大史

第104回例会 (2005.12.11. 於日本大学文理学部)

「Herman Melville の“The Bell-Tower”を読む レトリカル・ナレーター」

明治大学非常勤講師 奈良裕美子
司会 日本大学非常勤講師 中村 文紀

関西支部第15回例会 (2005.3.31. 於同志社大学田辺校地)

「ディケンズとスマイルズ」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
司会 龍谷大学非常勤講師 藤井 晶宏

関西支部第16回例会 (2005.10.23. 於同志社大学今出川校地)

「教養小説としての『高慢と偏見』」

京都女子大学大学院生 末森 恵子
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

2004 年

〈以下、全て研究発表〉

第97回例会 (2004.3.14. 於日本大学文理学部)

「*Far from the Madding Crowd* 試論」

日本大学大学院生 杉本 宏昭
司会 日本大学助手 堀切 大史

「“Morality Play”としての「森の景色」」

早稲田大学大学院生 加藤 良浩
司会 早稲田大学非常勤講師 近藤 直樹

第98回例会 (2004.6.13. 於日本大学文理学部)

「*The Mable Faun* の登場人物をめぐって」

昭和女子大学大学院生 西山 里枝
司会 日本大学助手 堀切 大史

「Leigh Hunt's Liberal Poetics」

早稲田大学非常勤講師 藤原 雅子
司会 日本女子体育大学専任講師 加賀 岳彦

第99回例会 (2004.9.12. 於日本大学文理学部)

「McCullers の小説と劇をめぐって—*The Member of the Wedding*」

昭和女子大学大学院生 廣田 純子
司会 日本大学非常勤講師 中村 文紀

第100回例会 (2004.12.12. 於日本大学文理学部)

「ロマン派とエコロジー」

日本大学芸術学部教授 植月 恵一郎
司会 日本女子体育大学専任講師 加賀 岳彦

「ミルトンの自然生態学 (上)」

早稲田大学非常勤講師 大西 章夫
司会 日本女子体育大学専任講師 加賀 岳彦

関西支部第13回例会 (2004.4.17. 於同志社今出川校地)

「女性に向けられた二つの教育—メアリ・ウルストンクラフトとシャーロット・ブロンテの主張から」

京都女子大学大学院生 末森 恵子
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

関西支部第 14 回例会 (2004.10.23. 於同志社今出川校地)

「モームの短編『九月姫』について」

関西大学非常勤講師 西紋 茂樹
司会 高野山大学特遇講師 藤井 晶宏

2003 年

〈以下、全て研究発表〉

第 93 回例会 (2003.3.9. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

『リトル・ドリット』における視点の問題」

早稲田大学文学部助手 水野 隆之
司会 早稲田大学非常勤講師 杉本 一郎

第 94 回例会 (2003.6.8. 於日本大学文理学部)

「ジョイスの『出会い』について」

早稲田大学大学院生 今井 宏二
司会 日本大学非常勤講師 奥井 裕

第 95 回例会 (2003.9.8. 於日本大学文理学部)

「ニューヨークで同時多発テロと大停電に遭遇して」

新見公立短期大学助教授 山内 圭

第 96 回例会 (2003.12.8. 於日本大学文理学部)

「殺す女・殺される女—ヴィクトリア朝フィクションにおいて—」

日本大学文理学部専任講師 閑田 朋子
司会 早稲田大学非常勤講師 杉本 一郎

関西支部第 11 回例会 (2003.4.2. 於同志社大学今出川校舎)

「ミルトンの『混沌』」

同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ
司会 高野山大学特遇講師 藤井 晶宏

関西支部第 12 回例会 (2003.9.20. 於同志社大学今出川校舎)

「肉体美に対する執心とナルシズム」

同志社女子大学非常勤講師 井上 径子
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

2002 年

〈以下、全て研究発表〉

第 89 回例会 (2002.3.10. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「「教え子」に見られるヘンリー・ジェイムズの金銭感覚」

早稲田大学大学院生 大森 夕夏
司会 早稲田大学文学部助手 村上 知子

第 90 回例会 (2002.6.9. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「動物と文学—アーヴィン・ウェルシュの奇抜な発想について」

日本大学非常勤講師 伊藤由起子
司会 千葉工業大学非常勤講師 小林 正弘

第 91 回例会 (2002.9.8. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「Flannery O'Connor の“Everything That Rises Must Converge”を読む」

早稲田大学大学院生 加藤 良浩
司会 早稲田大学非常勤講師 杉本 一郎

第 92 回例会 (2002.12.8. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

『カタロニア讃歌』試論」

早稲田大学大学院了 近藤 直樹
司会 早稲田大学非常勤講師 大石健太郎

関西支部第 9 回例会 (2002.3.18. 於同志社大学今出川校舎)

「*Oliver Twist*における Nancy 改心の意味」

甲南大学非常勤講師 吉田 一穂
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

関西支部第 10 回例会 (2002.9.19. 於同志社大学今出川校舎)

「怨霊鎮魂詩としての『リシダス』」

早稲田大学非常勤講師 大西 章夫
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

2001 年

第 85 回例会 (2001.3.11. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

〈読書会〉

「CS について—上野俊也／毛利嘉孝『カルチュラル・スタディーズ入門』筑摩書房、2000 年、ちくま新書 261 を中心に一」 主宰 日本大学芸術学部助教授 植月恵一郎

〈以下、全て研究発表〉

第 86 回例会 (2001.6.10. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「ヴィクトリア朝社会問題小説における問題点」

日本大学文理学部助手 閑田 朋子
司会 早稲田大学文学部助手 水野 隆之

第 87 回例会 (2001.9.9. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「英詩と声楽曲」—その活用の可能性と鑑賞」

早稲田大学非常勤講師 小林 英美
司会 日本大学非常勤講師 藤原 雅子

第 88 回例会 (2001.12.9. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

『ブラックウッズ・エディンバラ・マガジン』とリー・ハントー『リミニ物語』における
問題点」

日本大学非常勤講師 藤原 雅子
司会 早稲田大学非常勤講師 加賀 岳彦

「オーウェルとビルマの日々」

日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 早稲田大学文学部助手 水野 隆之

関西支部第 7 回 (2001.3.19. 於同志社同窓会館)

「D. H. Lawrence の“The Lovely Lady”を読む」

同志社女子大学非常勤講師 井上 径子
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

関西支部第8回（2001.9.14. 於同志社同窓会館）

「*The Mystery of Edwin Drood* から *Our Mutual Friend*」

高野山大学特遇講師 藤井 晶宏
司会 同志社女子大学非常勤講師 井上 径子

2000年

〈以下、全て研究発表〉

第80回例会（2000.3.12. 於日本大学芸術学部江古田校舎）

「John Steinbeck と R. L. Stevenson」

新見公立短期大学専任講師 山内 圭
司会 早稲田大学文学部助手 加賀 岳彦

第81回例会（2000.6.11. 於日本大学芸術学部江古田校舎）

「*Mrs. Dalloway*における Lady Bruton をめぐるテキスト戦略」

十文字学園女子大学非常勤講師 榑原理枝子
司会 日本大学非常勤講師 奥井 裕

第82回例会（2000.9.10. 於日本大学芸術学部江古田校舎）

「1795年時点における S. T. コウルリッジの神学とウィリアム・ペイリーとの関連について」

早稲田大学大学院生 直原 典子
司会 早稲田大学非常勤講師 小林 英美

第83回例会（2000.11.12. 於日本大学芸術学部江古田校舎）

「トマス・カーライルの「黒奴問題」について」

早稲田大学文学部専任講師 岡田俊之輔
司会 早稲田大学非常勤講師 池田 史彦

第84回例会（2000.12.10. 於日本大学芸術学部江古田校舎）

「講読は非実用的か？」

日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 日本大学非常勤講師 藤原 雅子

関西支部第5回（2000.3.31. 於同志社大学今出校舎）

「柔らかな都市の可能性：60年代後半から70年代初めの空気構造流行の文化的背景」

同志社大学専任講師 遠藤 徹
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

関西支部第6回（2000.9.18. 於同志社大学今出校舎）

「善でないものは即ち悪か—*Paradise Lost*に映し出されたプラトンの影響—」

同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ
司会 高野山大学特遇講師 藤井 晶宏

1999年

〈以下、全て研究発表〉

第73回例会（1999.3.14. 於日本大学芸術学部江古田校舎）

「ジョージ・ハーバートにおける‘cunning’の真意」

日本大学非常勤講師 石黒 恭代

司会 中央大学非常勤講師 横山 孝一

第 74 回例会 (1999.4.11. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「自己愛と自己滅却—アン・ブラッドストリートの“若気の至り”」

横浜国立大学非常勤講師 大西 章夫

司会 日本大学芸術学部助教授 植月 恵一郎

第 75 回例会 (1999.6.13. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「二つの『ハイピリオン』—古代弁論術を解法として」 拓殖大学非常勤講師 小林 正弘

司会 学習院大学非常勤講師 小林 英美

第 76 回例会 (1999.7.11. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「青年ワーズワースの記念碑としての「イチイの木」—詩集での作品配置と思想的影響との関係」

学習院大学非常勤講師 小林 英美

司会 日本大学非常勤講師 藤原 雅子

第 77 回例会 (1999.9.12. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「二つの夫婦の形—シリトーの結婚観について」 日本大学非常勤講師 横田由起子

司会 早稲田大学文学部助手 田村 裕二

第 78 回例会 (1999.11.14. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「『サムラー氏の惑星』における 1960 年代の表象—黒人とユダヤ人を中心に」

日本大学非常勤講師 新宅 美樹

司会 日本大学非常勤講師 奥井 裕

第 79 回例会 (1999.12.12. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「『ハード・タイムズ』—事実に基づいた空想—」 早稲田大学大学院生 水野 隆之

司会 日本大学非常勤講師 横田由起子

関西支部第 3 回例会 (1999.4.11. 於同志社大学今出川校舎)

「放送通訳について」 近畿大学非常勤講師 小倉 慶郎

司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

関西支部第 4 回例会 (1999.8.11. 於同志社大学今出川校舎)

「サマセット・モームの短編『蟻とギリギリス』について」

関西大学非常勤講師 西紋 茂樹

司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

1998 年

〈以下、全て研究発表〉

第 66 回例会 (1998.3.8. 於早稲田大学総合学術情報センター)

「リチャード・クラショーの〈心臓〉—「燃える心臓」について」

日本大学助教授 植月 恵一郎

司会 日本学術振興会特別研究員 大西 章夫

第 67 回例会 (1998.4.12. 於日本大学芸術学部江古田校舎)

「グリーン家のバーバラ」 早稲田大学大学院生 杉山 幸子
司会 早稲田大学大学院修了 木ノ内敏久

第 68 回例会 (1998.6.14. 於日本大学芸術学部江古田校舎)
「オーウェルは矛盾の多い作家か」 日本大学非常勤講師 奥井 裕
司会 千葉工業大学非常勤講師 横田由起子

第 69 回例会 (1998.7.12. 於日本大学芸術学部江古田校舎)
「労働者階級の音表現」 千葉工業大学非常勤講師 横田由起子
司会 早稲田大学文学部助手 加賀 岳彦

第 70 回例会 (1998.9.13. 於日本大学芸術学部江古田校)
『ダロウェイ夫人』における帝国主義と権力構造 早稲田大学大学院修了 榑原理枝子
司会 成城大学大学院生 市川 雅一

第 71 回例会 (1998.11.8. 於日本大学芸術学部江古田校舎)
「コウルリッジの言語論」 早稲田大学文学部助手 加賀 岳彦
司会 早稲田大学教育学部助手 藤原 雅子

第 72 回例会 (1998.12.13. 於日本大学芸術学部江古田校舎)
「キーツと文芸ジャーナリズム—*Endymion* 序文改稿をめぐって」
早稲田大学教育学部助手 藤原 雅子
司会 拓殖大学非常勤講師 小林 正弘

関西支部第 1 回例会 (1998.5.22. 於同志社女子大学同窓会館)
「ミルトンの庭—隠れ家としてのミルトンの森」 日本学術振興会特別研究員 大西 章夫
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

関西支部第 2 回例会 (1998.5.22. 於同志社大学今出川校舎)
「Canonical Marking Relation と Optionality」 同志社女子大学非常勤講師 城下真由美
司会 同志社女子大学非常勤講師 江藤あさじ

1997 年

〈以下、全て研究発表〉

第 59 回例会 (1997.3.9. 於早稲田大学国際会議場)
「J・D・サルンジャーの謎を解く—失恋体験とその影響—」
中央大学非常勤講師 横山 孝一
司会 中央大学非常勤講師 小松 良江

「R・L・スティーブンスン『マーカイト』の訪問者 (Visitor) の正体について」
目白学園高校教諭 竹内 一郎
司会 早稲田大学大学院生 杉本 一郎

第 60 回例会 (1997.4.13. 於早稲田大学国際会議場)
「C・S・ルイスとミルトン—『失樂園序説』を中心に—」
早稲田大学大学院生 池田 史彦

司会 日本学術振興会特別研究員 大西 章夫

第 61 回例会 (1997.6.8. 於早稲田大学国際会議場)

「F. Scott Fitzgerald の *The Beautiful and Damned* を読む」

早稲田大学非常勤講師 深谷 素子
司会 千葉工業大学非常勤講師 横田由起子

第 62 回例会 (1997.7.13. 於早稲田大学国際会議場)

「シャーロット・ブロンテの『ヴィレット』 (*Villette*) について」

早稲田大学大学院生 田村 裕二
司会 早稲田大学文学部助手 杉本 一郎

第 63 回例会 (1997.9.14. 於早稲田大学国際会議場)

「George Herbert における罪の意識の一考察」

創価大学大学院修了 石黒 恭代
司会 日本大学芸術学部助教授 植月恵一郎

第 64 回例会 (1997.11.9. 於早稲田大学国際会議場)

研究発表なし

第 65 回例会 (1997.12.14. 於早稲田大学総合学術情報センター)

「コミュニケーションと間主観性」

横浜国立大学非常勤講師 谷 憲治
司会 早稲田大学教育学部助手 藤原 雅子

1996 年

〈以下、全て研究発表〉

第 51 回例会 (1996.1.13. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

研究発表なし

第 52 回例会 (1996.3.11. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「三つの大学“服飾”劇について (*Three University Plays on Clothing*)」

国土館大学非常勤講師 加藤 誠

第 53 回例会 (1996.4.14. 於中央大学駿河台記念館)

「言語教育におけるチョムスキー理論の意義」

横浜国立大学非常勤講師 谷 憲治

第 54 回例会 (1996.6.9. 於早稲田大学国際会議場)

「ヒーローの詩」

東海大学非常勤講師 横田 肇

「外国人とのコミュニケーション：ことばと文化を考える」

東海大学非常勤講師 小泉 裕司

第 55 回例会 (1996.7.14. 於早稲田大学国際会議場)

「再び *The Marble Faun* についての考察」

中央大学非常勤講師 小松 良江

第 56 回例会 (1996.9.8. 於早稲田大学国際会議場)

「「エンディミオン」における神話エピソードの意味」

早稲田大学教育学部助手 藤原 雅子

第 57 回例会 (1996.11.10. 於早稲田大学国際会議場)

『リリカル・バラッズ』の出版背景と女性作家と女性読者」

茨城県立医療大学非常勤講師 小林 英美

第 58 回例会 (1996.12.8. 於早稲田大学国際会議場)

「詩としての第 16 章—A・シリトーの〈円〉と〈曲線〉について—」

東京立正女子短大非常勤講師 横田由起子

司会 日本大学非常勤講師 奥井 裕

『エンディミオン』— 従来の翻訳・解釈における若干の問題点について—」

拓殖大学非常勤講師 小林 正弘

司会 早稲田大学教育学部助手 藤原 雅子

注: この例会より、研究発表の司会を務めていた幹事長は例会の総合司会を担当し、発表者ごとに司会者を立てるようになった。

1995 年

〈以下、全て研究発表〉

第 41 回例会 (1995.1.22. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「*Lyrical Ballads* 第 2 版の構成」

早稲田大学教育学部助手 小林 英美

第 42 回例会 (1995.3.4. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「ワーズワースの思想的成長」

早稲田大学大学院生 長谷部龍文

第 43 回例会 (1995.4.2. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「ミルトン『教育論』の現代的意義」

中央大学非常勤講師 大西 章夫

第 44 回例会 (1995.5.13. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「エドモンド・ブランデンの自然観」

東海大学非常勤講師 横田 肇

第 45 回例会 (1995.6.11. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「詩人ミルトンの自立」

中央大学非常勤講師 大西 章夫

第 46 回例会 (1995.7.8. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「『嵐が丘』について」

早稲田大学大学院生 田村 裕二

第 47 回例会 (1995.9.9. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「アガペーとエロス—『情事の終り』を軸に—」

国士舘大学非常勤講師 秋本 和子

第 48 回例会 (1995.10.8. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「『オットー大帝』について」

早稲田大学大学院生 加賀 岳彦

「アラン・シリトーの『土曜の夜と日曜の朝』について」

茨城県立医療大学嘱託 横田由起子

第 49 回例会 (1995.11.11. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「幻想の境界論」

千葉工業大学非常勤講師 遠藤 徹

第 50 回例会 (1995.12.10. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「*A Group of Noble Dames* について」

早稲田大学大学院修了 杉山 幸子

注: この例会から事前に発表要旨を提出し、それを研究誌にも記載するようになった。

1994 年

〈以下、全て研究発表〉

第 29 回例会 (1994.1.23. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「ワーズワースにおける理性の意味」

早稲田大学大学院生 長谷部龍文

第 30 回例会 (1994.2.27. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「トニ・モリスンの *Beloved* について」

中央大学大学院生 横山 孝一

第 31 回例会 (1994.3.20. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「*Lyrical Ballads* の編成」

国士舘大学非常勤講師 小林 英美

第 32 回例会 (1994.4.17. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「コーディアリア像をめぐる『リア王』の異版対照研究」

国士舘大学非常勤講師 大西 章夫

第 33 回例会 (1994.5.15. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「翻訳の良否—A・オウエンを素材に—」

東海大学非常勤講師 横田 肇

第 34 回例会 (1994.6.19. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「ディケンズの父親像」

早稲田大学大学院生 杉本 一郎

第 35 回例会 (1994.7.17. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「ホーソンの *The Marble Faun* のピューリタニズムとゴシック」

中央大学非常勤講師 小松 良江

第 36 回例会 (1994.8.21. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「マクベスの魔女」

国士舘大学非常勤講師 越智 敏之

「グリーン文学に見られるキリスト教思想」

国士舘大学非常勤講師 秋本 和子

第 37 回例会 (1994.9.18. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「触手論／テキスト論」

都立農芸高等学校教諭 遠藤 徹

第 38 回例会 (1994.10.23. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「キーツの長篇詩の技法」

早稲田大学大学院修了 加賀 岳彦

「アラン・シリトーの『ドアの鍵について』」

早稲田大学大学院修了 横田由起子

第 39 回例会 (1994.11.20. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「モームの『アリとキリギリス』を読む」

日本大学非常勤講師 奥井 裕

「Linking 'r' and intrusive 'r'」

エセックス大学大学院修了 谷 憲治

第 40 回例会 (1994.12.18. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

『ご降誕祭のどたばた晩餐』(A Christmas Messe, 1619) について

国士舘大学非常勤講師 加藤 誠

1993 年

〈以下、全て研究発表〉

第 17 回例会 (1993.1.17. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

『ハムレット』の言葉遊び

東海大学非常勤講師 神山 高行

第 18 回例会 (1993.3.7. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「語り手としてのペロー」

中央大学大学院生 新井 典子

「詩人のイメージ」

早稲田大学大学院生 小林 英美

第 19 回例会 (1993.3.21. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「Wordsworth's Life」

早稲田大学大学院生 長谷部龍文

第 20 回例会 (1993.4.18. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「Henry James の *The Golden Bowl* について」 武蔵野音楽大学非常勤講師 内山 知子

第 21 回例会 (1993.5.23. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「ジョージ・オーウェルの『ウィガン波止場への道』について」

日本大学非常勤講師 奥井 裕

第 22 回例会 (1993.6.20. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「ハーディーの恋愛詩について」

東海大学非常勤講師 横田 肇

『オリヴァー・ツイスト』について

早稲田大学大学院生 杉本 一郎

第 23 回例会 (1993.7.18. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「Henry Miller の自伝的契約」

パリ第 3 大学大学院修了 (文博) 松田憲次郎

「Puritan Heritage 中の *The House of the Seven Gables*」

中央大学非常勤講師 小松 良江

第 24 回例会 (1993.8.15. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

『失樂園』における教育的機能

国士舘大学非常勤講師 大西 章夫

「エドガー・アラン・ポウの『ウィリアム・ウィルソン』における同級生の正体」

早稲田大学大学院修了 竹内 一郎

第 25 回例会 (1993.9.19. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「キーツの擬人法」

早稲田大学大学院生 加賀 岳彦

第 26 回例会 (1993.10.17. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「シェークスピアの『様式的な』劇 序説」

国士舘大学非常勤講師 加藤 誠

第 27 回例会 (1993.11.21. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)

「マクベス夫人の牢獄」

国士舘大学非常勤講師 越智 敏之

第 28 回例会 (1993.12.19. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)
「Murray Pomerance, *DECOR* について」 東京理科大学非常勤講師 宍戸絵里香

1992 年

〈以下、全て研究発表〉

第 12 回例会 (1992.3.23. 於早稲田大学戸山構内)
「‘spots of time’体験の外界と心情」 早稲田大学大学院生 小林 英美

第 13 回例会 (1992.6.8. 於早稲田大学戸山構内)
「現状への傾斜」 早稲田大学大学院生 加賀 岳彦
「“The Road from Colonus”研究」 早稲田大学大学院生 内山 知子

第 14 回例会 (1992.10.18. 於早稲田大学総合学術センター)
「『荒地』に於ける水圏」 東海大学非常勤講師 横田 肇

第 15 回例会 (1992.11.15. 於早稲田大学総合学術センター)
「詩人ミルトンの出発 再説」 国士舘大学非常勤講師 大西 章夫
「キーツ ソネットからオードへ」 早稲田大学大学院生 加賀 岳彦

第 16 回例会 (1992.12.20. 於早稲田「セミナーハウスきむら」)
「囲われた隠れ家」 国士舘大学非常勤講師 大西 章夫
「道化服を着たジェームズ一世」 国士舘大学非常勤講師 越智 敏之

1991 年

〈以下、全て研究発表〉

第 9 回例会 (1991.6.20. 於学習院大学)
「A. Pope『人間論』の第二書簡から」 日本大学芸術学部非常勤講師 佐藤 豊

第 10 回例会 (1991.9.28. 於早稲田大学戸山構内)
「*What Was Mine* (1991) — *The Burning House* (1984) との比較を中心に」
目白学園女子短大非常勤講師 宍戸絵里香

第 11 回例会 (1991.12.18. 於学習院大学)
「ウルフの『波』について」 日本大学芸術学部非常勤講師 中谷 久一

注：第 1 回～第 8 回までの例大会の記録は現存しない。またこの時期の例会はほぼ「研究発表」のみで、その司会者は主に幹事長(現例大会運営委員長)が行っていた。

学会化後

歴代会長・副会長・編集代表・幹事長・例大会運営委員長・事務局長・
会計局長・会計監査・関西支部長・名誉顧問・顧問・監査役・相談役

歴代会長

2008～2018 植月 惠一郎

2019～現在 小林 英美

歴代副会長

2008～2018 松田 憲次郎

2019～2022 野村 忠央

2023～現在 奥井 裕

歴代編集代表

2008～2013 加賀 岳彦

2014～2015 奥井 裕

2016～2018 水野 隆之

2019～現在 藤原 愛

歴代幹事長

2008～2018 水野 隆之

歴代例大会運営委員長

2019～現在 上滝 圭介

歴代事務局長

2008～2013 大西 章夫

2013～現在 奥井 裕

歴代会計局長

2013～2018 近藤 直樹

2019 直原 典子

2020～現在 大野 里枝

歴代会計監査

2019～2020 閑田 朋子

2021～現在 鵜崎 敏彦

歴代関西支部長

2008～2022 遠藤 徹

2023～現在 江藤あさじ

歴代名誉顧問

2008～2010 出口 保夫

2019～現在 井内雄四郎

歴代顧問

2008～2018 井内雄四郎

2019～現在 植月恵一郎

2019～現在 大西 章夫

2019～現在 松田憲次郎

歴代相談役

2019～現在 加藤 誠

2019～現在 横山 孝一

2019～現在 加賀 岳彦

2021～現在 近藤 直樹

2023～現在 野村 忠央

歴代監査役

2008～2018 加藤 誠

2008～2018 小林 英美

2008～2018 横山 孝一

2015～2018 加賀 岳彦

注：2013年に「会計局」が新設され(それまでは「事務局」が会計も担当)、2019年に「幹事会」は「例大会運営委員会」に、「監査役」は「相談役」に改組され、併せて「会計監査」が新設された。